

# 令和2年9月10日会議概要

第1 日 時 令和2年9月10日（木）午前9時30分から午後1時45分までの間

第2 出席者 渡部委員長、平林委員、長谷委員、森委員、森田委員  
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、  
交通部長、警備部長、京都市警察部長、情報通信部長等  
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

## 第3 議事の概要

### 1 委員報告

#### (1) 装備資機材開発改善コンクール審査（9月3日）

委員から「審査した全ての作品が、現場の皆さんの苦勞の一端が垣間見え、工夫の跡に感動した。経済性も審査のポイントの一つだが、経費節減に関する意識が浸透しているのか、今回もコストが抑えられた作品が多かった印象である。今回のようなコンクールだけではなく、日常的にアイデアを上申できるような組織体制が必要ではないかと思う。」旨の報告があった。

#### (2) 保護司選考会（9月7日）

委員から「選考会は選考委員全員が出席して開催され、議題は新任保護司の承認及び再任の承認だったが、全員承認された。現在、保護司は定員割れの状態であるが、これは保護司はボランティアであることや、難しい仕事であることに関係している。」旨の報告があった。

### 2 報告事項

#### (1) 検察庁と合同による非常訓練の実施

総務部長から、留置管理課員と検察庁職員合同による、想定に基づく逃走被護送者の捜索及び捕捉訓練を実施することについて報告があった。

#### (2) 損害賠償請求事件の発生及び応訴について

警務部長から、令和2年8月25日、神戸地方裁判所第2民事部から京都府宛に、損害賠償等請求事件の訴状等が送達されたことから、応訴する旨の報告があった。

#### (3) 金閣寺工事是非の検証調査について

生活安全部長から、金閣寺で行われた工事が、文化財保護法上、適切であったかどうかについて、教育委員会が調整を行っていることについて報告があった。

#### (4) 持続化給付金詐欺被疑者の検挙

刑事部長から、捜査第二課、北警察署、南警察署、上京警察署及び伏見警察署は、中小企業庁が所管する持続化給付金事業において、内容虚偽の証拠書類等を作成して同給付金を騙し取ったとして、令和2年9月9日、共犯の男2人を検挙したことについて報告があった。

(5) 出入国管理及び難民認定法違反（不法就労斡旋・不法就労助長）被疑者の逮捕について  
刑事部長から、組織犯罪対策第一課、東山警察署、伏見警察署及び向日町警察署は、通訳や技術者などの名目で在留資格を取得して入国したベトナム人を単純労働の現場に派遣したとして、男2人を検挙したことについて報告があった。

委員から「不法就労の外国人が逮捕されれば、強制送還となるのか。」旨の質問があり、刑事部長から「裁判にかかれば、そのようになる。処分保留で釈放となれば、入国管理局の方で国外退去の手続きに入ることになる。」旨の回答があった。

他の委員から「コロナ禍で失職者が5万人を超える状況にあるため、不法就労は、しっかりと取り締まっていただきたい。」旨の発言があった。

(6) 指定暴力団神戸山口組傘下組織の壊滅及び事務所撤去について

刑事部長から、組織犯罪対策第二課及び舞鶴警察署は、舞鶴市内の府立高等学校の施設から直線距離で200メートルの区域内に、指定暴力団神戸山口組傘下組織の事務所が開設・運営されていたことから、令和2年5月15日に京都府暴力団排除条例違反（暴力団事務所の開設及び運営の禁止）被疑事件で指定暴力団神戸山口組傘下の組長を検挙したことについて報告があった。

委員から「この事件とは直接関係はないが、10月3日に特定抗争指定暴力団の指定期限が来るが、延長方向であるか。」旨の質問があり、刑事部長から「警察庁は完全に収束したと認定していない、と聞いている。京都の場合は現実に組員が自動小銃を所持して来たという土地柄であるので、全国での指定がなくなる限り、京都も指定から外れることはない」とみている。」旨の回答があった。

(7) 官津警察署管内発生妨害運転被疑者の検挙について

交通部長から、交通指導課及び官津警察署は、令和2年7月9日、京都府与謝郡与謝野町の国道176号において妨害運転（あおり運転）した女を令和2年9月7日、京都地方検察庁官津支部に書類送検したことについて報告があった。

(8) 令和2年度の路上競技（全国規模）の開催予定について

交通部長から、令和2年度のマラソン、駅伝等の路上競技（全国規模）の開催予定について報告があった。

(9) 台風第10号に伴う特別派遣について

警備部長から、台風第10号に伴う広域緊急援助隊（警備部隊）の出動等について報告があった。

委員から「今月号の機関誌『平安』に掲載されていた7月の熊本豪雨の特別派遣の手記を読ませていただいたが、非常に住民の心情に寄り添った良い活動をしていると大変感銘を受けた。」旨の発言があった。

他の委員から「ショッピングセンターなどで災害の特別装備の展示会に参加したことがあるが、皆さん非常に関心を持っておられた。台風のシーズンでもあるので、災害装備資機材などを府民の方々に広報啓発することも大切であると思われる。」旨の発言があった。

### 3 決裁事項

(1) 公安委員会宛て苦情等申出について（処理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、処理1件の調査

結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

## (2) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について

監察官室訟務官から、放置違反金の納付命令を受けた者（1件1人）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の趣旨、理由、原処分の内容等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を裁決した。

## 4 個別報告

### 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

## 5 聴聞関係

### (1) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、22件の行政処分を決定した。

### (2) 直接聴聞

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反（2件1人）に対する直接聴聞が実施され、審議の上、行政処分を決定した。

## 6 本部長総括報告

本部長から、「今週の部局長会議の中で、副知事から税収について先行きが暗いことやコロナ禍による各種給付金等で予算を使用していることから、来年度の予算は非常に厳しくなるだろうとの発言があった。警察本部の場合は、ご存じのように人件費の割合が非常に大きいので削減するのが難しいかもしれないが、その代わり施策に充てる費用が非常に厳しく査定されると思われることから、認識を共有し、来年度の予算に向けてしっかり準備していきたい。」旨の報告があった。